

ここには言葉で語り尽くせないものがある

日本列島を地震がまたもや襲っている。(2018, 4, 9、島根県西部) 東日本大震災から7年が過ぎた。この間にも、震度5強以上の地震は熊本地震(2016, 4, 14)以外にも、北は北海道石狩・釧路、南は鹿児島・沖縄本島近海他、山陰地方や信越・関東・東北などで多数発生している。

被災地に思いを寄せ、被災者を追ったドキュメンタリー映画「一陽来復」という映画が3月から全国で上映されている。岩手・宮城・福島の前災3県で喪失感や葛藤を抱えながら、新しい一歩を踏み出す姿が心打つ。

- 3人の子供を失った場所に、仲間のための集会スペースを作った夫婦。
- 津波の後にもたらされた海の恵みに気づき、以前とは異なる養殖を始めたカキ漁師。
- 震災を風化させないために語り部となったホテルマン。
- 写真の中で生き続けるパパと、そろばんが大好きな5歳の少女。
- 全村避難の村で田んぼを耕し続けた農家。
- 電力会社との対話をあきらめない商工会会長。
- 被爆した牛の世話を続ける牛飼い。(枠内映画案内より)



「震災を忘れず伝え続けたい」

皆さんは、「あの日」を覚えていますか。

津波で流されていく家・船・車・そして人もペットも。

この世の、現実のこととは思えない映像が目飛び込んできた日。

あの日から、7年と1ヶ月。

目に見える復興は徐々に進んできましたが、心の支援はまだまだ進んでいません。

私たちにとっては時間が経てば忘れてしまう出来事であっても、

被災された方々にとっては、おそらく一生背負っていくであろう傷になりました。

私たちは東日本大震災を忘れないための応援を続けています。

これからも「愛ある支援」を続けていこうと思います。

委員会は震災1ヵ月後の2011年4月12日に生徒有志で発足させ、今日まで初心を大切に活動しています。

2018年度の実行委員長 岩岡 侑葵 (高校3年3組) 金本 晴華 (高校3年5組)

私たちは中学1年生から委員会に入り活動してきました。被災地への応援について大切なことを先輩から教えられながら「自分にできること」を「息長く」「無理せず」やってきました。年月が経てば、

応援の仕方も変化します。今年度は新しい事にもチャレンジし、生徒の力をもっと発揮していきたいと考えています。みなさん是非ご協力をお願いします。

実行委員会の紹介

《主な活動》

① 被災地の応援

被災者の求めていることを聞き、私たちができることを委員会で決め、いろんなことを実施してきました。今まで送り届けたものはたくさんすぎて…その一部は以下のものです。

直後は生活必需品 布団など寝具一式・衣類・食品・文具 その年の夏には夏物衣類・扇風機
冬にはコタツ・ストーブなどの暖房器具や、冬物衣類

2年目以降 カメラ・アルバム・ラジカセなど思い出づくりのためのもの

3年目以降 オリジナル応援曲などを収めたCD・絵本など、心を癒す品々やクリスマスプレゼント

その都度、被災者の声を聞きながら、「必要なものを必要な方に」送り届けてきました。

② 募金活動

毎月11日朝に「11円募金」を取り組んでいます。その他に、学校行事や外部イベントに参加して募金を訴えています。その募金でこれまで様々な品物を被災者にお届けしてきました。クリスマスプレゼントは欠かせません。

③ 防災への取り組み

これは今年初めての取り組みです。「これまでの震災からの学びを実生活に活かしていこう」と委員会では防災への取り組みについて考えていきます。

④ 毎月11日の昼休みがミーティングです。現地の様子を知る機会にもなっています。

この日には、「被災地を忘れないために」委員会便り「轍」を発行しています。

東日本大震災ミニ知識：あなたは全問正解できますか？ 正解は玄関の掲示板を見てね

1. 東日本大震災の発生？

① 1995年1月17日 ②1923年9月1日 ③2011年3月11日 ④2016年4月14日

2. 被害者が多かった原因？

① 火災 ②地震 ③津波

3. 最大震度はマグニチュード？

①9.0 ②7.3 ③8.3

4. 最適な逃げ場所？

① 道路の中央 ②歩道 ③地下

5. 避難の合言葉「おかしも」の意味？

①お ②か ③し ④も

6. 放射能から身を守るためにしてはいけないこと？

①野菜の皮をむく ②帰宅後着替える ③換気する ④湿ったマスクをする

